



## 2021年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年11月13日

上場会社名 ブランディングテクノロジー株式会社  
 コード番号 7067 URL <https://www.branding-t.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 木村 裕紀  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理本部長 (氏名) 松原 祐輔  
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無 (説明動画を配信)

上場取引所 東  
 TEL 03-6455-3117

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	2,128	17.0	90		92		67	
2020年3月期第2四半期	2,565		61		52		28	

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 66百万円 ( %) 2020年3月期第2四半期 28百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	42.30	
2020年3月期第2四半期	18.56	18.38

(注) 2021年3月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失のため記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	2,263	1,026	45.2
2020年3月期	1,845	1,106	59.9

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 1,023百万円 2020年3月期 1,106百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		0.00		0.00	0.00
2021年3月期		0.00			
2021年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,250	17.7	145		142		50		31.36
	～ 4,500	～ 12.8	～ 75		～ 72		～ 20		～ 12.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	1,615,400 株	2020年3月期	1,615,000 株
期末自己株式数	2021年3月期2Q	25,745 株	2020年3月期	10,900 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	1,597,790 株	2020年3月期2Q	1,553,541 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	3
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

#### (経営成績の状況)

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大に伴う緊急事態宣言発令を機に、外出自粛、休業要請が本格化し、大幅に制約された経済活動が続きました。緊急事態宣言の解除後は、段階的な経済活動の再開により、足元では景気持ち直しが見られるものの、欧米では再びロックダウンが敷かれるなど、感染拡大の第2波の懸念が高まっており、先行きは不透明な状況となっております。

当社グループにおいては、お客様、従業員の健康を第一に考え、政府や行政の指示等に従いつつ、テレワーク等の積極的な活用により生産性の維持・向上に取り組みましたが、いずれの事業セグメントにおいても売上が減少しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は2,128,201千円（前年同期比17.0%減）、営業損失は90,807千円（前年同期は営業利益61,904千円）、経常損失は92,509千円（前年同期は経常利益52,760千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は67,586千円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益28,828千円）となりました。

セグメントの経営成績を示すと、次のとおりであります。

#### ① ブランド事業

当該事業におきましては、「ブランドファースト」の考え方を反映した独自フレームワークを軸に、中堅・中小企業が抱える収益拡大課題、人材及び育成課題に対して、顧客の”らしさ”を明確にし、顧客の競合差別化及び顧客とのコミュニケーションデザインに基づき、オウンドメディア構築運用及び経営サポートサービス、コンテンツマーケティングサービス、歯科経営コンサルティングサービスを提供しております。

当第2四半期連結累計期間におきましては、非対面型の営業活動やアライアンス企業とのオンライン動画セミナーの共同開催等に注力してまいりました。

一方で、当社グループの主要顧客である中小企業は、緊急事態宣言の発令により経済活動が制限される環境下で、オウンドメディア等に対する投資が抑制されております。そのことに起因し、受注活動、納品活動共に大きな影響を受けました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は613,936千円（前年同期比20.3%減）、セグメント利益は106,904千円（前年同期比34.7%減）となりました。

#### ② デジタルマーケティング事業

当該事業におきましては、中堅・中小企業向けにデジタル領域における総合マーケティング支援を展開しております。専門特化したマーケティングの責任者がおらず、ノウハウがない中堅・中小企業に対して、当社で抱えているコンサルタント人材が、上流のマーケティングフレームワークを理解したうえで、現状分析、戦略立案・実行、効果測定までワンストップで提供出来ることを強みとしております。プロモーション戦略を立案し、各種インターネット広告を活用することによって、サイトのアクセス数を増加させるとともに、サイトのレポートを通じて課題を明らかにし、改善を行うことで、中堅・中小企業の収益機会の拡大に貢献してまいりました。

当第2四半期連結累計期間におきましては、テレワークによる働き方改革、非対面型の営業活動による効率化により、既存顧客へのサービス拡充に注力してまいりました。

一方で、緊急事態宣言による経済活動の制限により、取引先各社の広告分野における企業の支出抑制、予算見直しが生じたことで、売上高、セグメント利益共に大きな影響を受けました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は1,471,702千円（前年同期比14.9%減）、セグメント利益は47,417千円（前年同期比57.9%減）となりました。

#### ③ オフショア関連事業

当該事業におきましては、ベトナム、沖縄を中心にオフショア及びニアショア体制を強化することによって、ブランド事業及びデジタルマーケティング事業に対して、高品質なサービスをより安価で提供することを実現しております。また、当該体制で培ったノウハウを、現地で同等の品質でサービス提供することにより、アジアに事業所を持つ日系企業や現地企業におけるオウンドメディアの構築や、デジタル領域における総合マーケティング支援を展開しております。

当第2四半期連結累計期間におきましては、主力のオウンドメディア構築に加え、地場の企業や第三セクターとの地域活性に繋がる取組等を行ってまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は42,562千円（前年同期比35.2%減）、セグメント損失は1,791千円（前年同期はセグメント利益8,548千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産・負債及び純資産の状況

(財政状態の分析)

当社グループの当第2四半期連結会計期間末における財政状態は、総資産2,267,992千円となり、前連結会計年度末と比較して422,399千円増加しております。負債合計は1,242,288千円となり、前連結会計年度末と比較して503,180千円増加しております。純資産は1,025,703千円となり、前連結会計年度末と比較して80,780千円減少しております。

(流動資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べ381,455千円増加し、1,982,877千円となりました。これは受取手形及び売掛金99,799千円、未収消費税等が76,269千円減少した一方で、現金及び預金が562,886千円増加したこと等によるものであります。

(固定資産)

当第2四半期連結会計期間末における固定資産は、前連結会計年度末に比べ40,943千円増加し、285,115千円となりました。これは有形固定資産が9,775千円減少した一方で、無形固定資産が478千円、投資その他の資産が50,240千円増加したこと等によるものであります。

(流動負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べ79,839千円増加し、714,193千円となりました。これは買掛金が49,403千円減少した一方で、1年内返済予定の長期借入金が133,333千円増加したこと等によるものであります。

(固定負債)

当第2四半期連結会計期間末における固定負債は、前連結会計年度末に比べ423,341千円増加し、528,095千円となりました。これは固定負債の長期借入金が423,337千円増加したこと等によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ80,780千円減少し、1,025,703千円となりました。これは親会社株主に帰属する四半期純損失を67,586千円計上したこと等によるものであります。

②キャッシュ・フローの概況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ567,386千円増加し、1,476,354千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動の結果獲得した資金は57,565千円（前年同期は27,498千円の支出）となりました。

この主な内訳は、税金等調整前四半期純損失が92,509千円等があった一方で、売上債権の減少額が100,814千円、未払又は未収消費税等の増減額が85,334千円等があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動の結果支出した資金は32,428千円（前年同期は15,243千円の支出）となりました。

この主な内訳は、有形固定資産の取得による支出が12,018千円、その他の支出19,913千円等があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果獲得した資金は543,105千円（前年同期は175,984千円の獲得）となりました。

この主な内訳は、長期借入れによる収入600,000千円があった一方で、長期借入金の返済による支出が43,329千円、自己株式の取得による支出が16,298千円等があったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社では、営業体制の強化、セミナー・ウェビナー等の強化を実施中ですが、これらの施策効果が受注に反映されるまで想定より時間差があったこと、かつ新型コロナウイルス感染症拡大により顧客の需要動向の合理的な見通しが困難であることからレンジ形式による通期予想開示を採用して業績予想を算定いたしましたので、公表いたします。

レンジの下限値は新型コロナウイルス感染症が再び拡大し、2021年3月まで経済活動に影響を与えた場合、現時点で入手可能な売上予想と投資予定費用から算出された予測値です。レンジの上限値は日本国内において新型コロナウイルス感染症が年度内に収束の目途がたち、それに伴って企業活動が回復基調となった場合、顧客の投資意欲が増大し、広告出稿等が活発になることを想定した予測値です。

売上高につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により顧客都合のキャンセル、納期遅延、広告出稿の減少等が発生しており、下限4,250百万円～上限4,500百万円となる見通しです。

利益面につきましては、セミナー・ウェビナー開催の環境整備に関する投資や、リモートワーク導入に伴うIT投資を行っており、営業損失は下限145百万円～上限75百万円、経常損失は下限142百万円～上限72百万円となる見通しです。親会社株主に帰属する当期純損益につきましては、2020年10月22日に公表いたしました「事業譲渡および特別利益の計上に関するお知らせ」のとおり、特別利益を94百万円が発生したことに伴い、下限50百万円の損失～上限20百万円の利益となる見通しです。

詳細については、本日（2020年11月13日）公表いたしました「連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

■連結業績概要

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前期実績 (2020年3月期) (A)	5,161	63	57	42	21.79
今回修正予想 (B)	4,250 ～4,500	△145 ～△75	△142 ～△72	△50 ～20	△31.36 12.54
増減額 (B - A)	△911 ～△661	△208 ～△138	△199 ～△129	△92 ～△22	—
増減率 (%)	△17.7 △12.8	—	—	—	—

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	913,467	1,476,354
受取手形及び売掛金	514,860	415,060
仕掛品	14,081	18,976
前払費用	84,550	63,109
未収消費税等	76,269	-
その他	3,979	12,294
貸倒引当金	△5,785	△2,917
流動資産合計	1,601,421	1,982,877
固定資産		
有形固定資産		
その他(純額)	80,567	70,792
有形固定資産合計	80,567	70,792
無形固定資産		
その他	21,834	22,312
無形固定資産合計	21,834	22,312
投資その他の資産		
その他	155,110	204,334
貸倒引当金	△13,341	△12,324
投資その他の資産合計	141,768	192,009
固定資産合計	244,171	285,115
資産合計	1,845,593	2,267,992
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	320,668	271,264
1年内返済予定の長期借入金	-	133,333
未払法人税等	17,337	5,066
賞与引当金	50,052	52,224
その他	246,296	252,304
流動負債合計	634,354	714,193
固定負債		
長期借入金	-	423,337
長期預り保証金	101,500	101,500
その他	3,254	3,257
固定負債合計	104,754	528,095
負債合計	739,108	1,242,288
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	157,487	157,581
資本剰余金	154,097	154,242
利益剰余金	802,728	735,141
自己株式	△10,404	△26,703
株主資本合計	1,103,908	1,020,262
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△38	355
為替換算調整勘定	2,539	2,396
その他の包括利益累計額合計	2,501	2,752
新株予約権	74	74
非支配株主持分	-	2,614
純資産合計	1,106,484	1,025,703
負債純資産合計	1,845,593	2,267,992

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	2,565,125	2,128,201
売上原価	1,915,497	1,663,232
売上総利益	649,627	464,969
販売費及び一般管理費	587,723	555,777
営業利益又は営業損失(△)	61,904	△90,807
営業外収益		
受取利息	118	14
受取配当金	-	4
受取手数料	184	106
受取補償金	1,546	192
助成金収入	1,440	271
還付加算金	-	452
その他	465	641
営業外収益合計	3,755	1,683
営業外費用		
支払利息	129	1,239
上場関連費用	11,288	-
持分法による投資損失	-	356
為替差損	1,482	1,474
その他	-	314
営業外費用合計	12,899	3,385
経常利益又は経常損失(△)	52,760	△92,509
特別損失		
減損損失	4,256	-
特別損失合計	4,256	-
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	48,503	△92,509
法人税、住民税及び事業税	14,115	1,106
法人税等調整額	5,559	△26,158
法人税等合計	19,675	△25,052
四半期純利益又は四半期純損失(△)	28,828	△67,457
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	129
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	28,828	△67,586

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	28,828	△67,457
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△94	393
為替換算調整勘定	△350	△143
その他の包括利益合計	△445	250
四半期包括利益	28,383	△67,206
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	28,383	△67,335
非支配株主に係る四半期包括利益	-	129

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	48,503	△92,509
減価償却費	17,551	16,306
減損損失	4,256	-
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△909	△3,885
賞与引当金の増減額(△は減少)	△4,255	2,181
受取利息及び受取配当金	△118	△18
支払利息	129	1,239
為替差損益(△は益)	370	775
上場関連費用	11,288	-
持分法による投資損益(△は益)	-	356
売上債権の増減額(△は増加)	29	100,814
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1	△5,199
未払又は未収消費税等の増減額	△58,382	85,334
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△29,531	18,841
仕入債務の増減額(△は減少)	3,119	△49,402
長期預り保証金の増減額(△は減少)	21,000	-
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△18,567	△2,776
その他	6,096	△4,085
小計	578	67,974
利息及び配当金の受取額	118	18
利息の支払額	△195	△1,462
法人税等の支払額	△28,000	△8,965
営業活動によるキャッシュ・フロー	△27,498	57,565
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の払戻による収入	-	4,500
有形固定資産の取得による支出	△11,879	△12,018
無形固定資産の取得による支出	-	△4,996
その他	△3,363	△19,913
投資活動によるキャッシュ・フロー	△15,243	△32,428
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	-	600,000
長期借入金の返済による支出	△15,000	△43,329
株式の発行による収入	110,828	-
自己株式の取得による支出	-	△16,298
自己株式の処分による収入	88,684	-
新株予約権の行使による株式の発行による収入	-	188
上場関連費用の支出	△8,602	-
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の売却による収入	-	2,544
その他	74	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	175,984	543,105
現金及び現金同等物に係る換算差額	△549	△854
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	132,693	567,386
現金及び現金同等物の期首残高	814,663	908,967
現金及び現金同等物の四半期末残高	947,357	1,476,354

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1 配当金支払額

該当事項はありません。

2 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3 株主資本の著しい変動

当社は、2019年6月21日に東京証券取引所マザーズ市場に上場いたしました。上場にあたり、2019年6月20日を払込期日とする有償一般募集(ブックビルディング方式による募集)による新株式発行70,800株及び自己株式の処分55,400株により、資本金が56,668千円、資本剰余金が119,169千円増加し、自己株式が26,183千円減少しております。

この結果、当第2四半期連結会計期間末において、資本金156,168千円、資本剰余金152,778千円となっております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1 配当金支払額

該当事項はありません。

2 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

(追加情報)

当社グループでは、繰延税金資産の回収可能性の判断等の会計上の見積りについて、新型コロナウイルス感染症拡大による当社グループへの影響はあるものの、2021年3月期中に収束するとの仮定のもと、当四半期連結会計期間の末日現在で入手可能な情報に基づき会計処理を行っております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	ブランド事業	デジタル マーケ ティング事業	オフショア 関連事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	770,410	1,729,062	65,652	2,565,125	—	2,565,125
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,969	—	81,659	83,629	△83,629	—
計	772,380	1,729,062	147,312	2,648,754	△83,629	2,565,125
セグメント利益	163,761	112,599	8,548	284,909	△223,005	61,904

(注) 1. セグメント利益の調整額△223,005千円には、セグメント間取引消去260千円及び報告セグメントに配分していない全社費用△223,265千円が含まれております。

全社費用の主なものは報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

ブランド事業のソフトウェアについて、帳簿価額を回収可能額まで減額し、当該減少額を減損損失に計上しています。

なお、当該減損損失の金額は当第2四半期連結累計期間において4,256千円です。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	ブランド事業	デジタル マーケ ティング事業	オフショア 関連事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	613,936	1,471,702	42,562	2,128,201	-	2,128,201
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,900	-	79,634	84,535	△84,535	-
計	618,837	1,471,702	122,197	2,212,737	△84,535	2,128,201
セグメント利益又はセグ メント損失(△)	106,904	47,417	△1,791	152,530	△243,338	△90,807

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△243,338千円には、セグメント間取引消去32千円及び報告セグメントに配分していない全社費用△243,370千円が含まれております。

全社費用の主なものは報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

重要な事業の譲渡

当社は2020年10月22日開催の取締役会において、株式会社じげんに当社の外壁塗装コンシェルジュ事業を事業譲渡することを決議いたしました。

(1) 事業譲渡の概要

①事業譲渡の目的

グループ事業の選択と経営資源の集中の一環として譲渡することといたしました

②譲渡する相手会社の名称

株式会社じげん

③譲渡する事業の内容

外壁塗装比較メディア「外壁塗装コンシェルジュ」の管理・運営等

④譲渡する資産の内容(2020年9月30日現在)

主にソフトウェア等であります。

⑤譲渡の時期

2020年11月4日

⑥譲渡価額及び決済方法

譲渡価額：100百万円

決済方法：譲渡期日に現金決済

(2) 譲渡する事業が含まれている報告セグメントの名称

ブランド事業